

# 手をたずさえて

“富中PRIDE”～自信と誇り～

- 自ら学ぶ生徒
- 正しく行動する生徒
- 健康でたくましい生徒



平成30年7月19日(木)発行  
【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

## 郡山支援学校の4名の生徒が来校！本校の授業に参加 第1回 郡山支援学校との授業交流 7/13(金)

7月13(金)には、今年度1回目の郡山支援学校との授業交流が行われました。支援学校の4名の生徒と先生方が来校し、1年2組と2年6組に1名ずつ、3年6組に2名が入り、2校時から4校時までの本校の授業に加わりました。授業の最初に自己紹介があり、各クラスの学級委員から歓迎のコメントが贈られました。授業では、ペアやグループ活動等の中で本校生徒との交流が深まりました。さらに給食も共に摂りました。支援学校の生徒達に感想を聞くと、「とても楽しかったです。」「有意義な時間でした。」という答えが返ってきました。逆に本校の生徒達にとっても、大切な何かを得ることができた交流だったと思います。以前、支援学校の先生が、バリアフリーでない本校での生活が逆に支援学校の生徒にとって、学ぶべきことがたくさんあると言われていました。11月には2回目の授業交流会(会場:本校)と全体交流会(会場:支援学校)が行われます。さらに相互理解と交流を深め、互いを高め合うことができるよう、その活動に期待しています。



支援学校の生徒の出迎え

### 大切にしたい外部の方々からの学び

◆ 7月12日(木)の6校時には、3年生で「薬物乱用防止教室」が実施されました。郡山北警察署生活安全課の霜鳥佳代子さんが来校され、今回は大麻を主とした薬物中毒の状況を描いたDVDを視聴し、お話をいただきました。ちょっとした好奇心や心の隙から、取り返しのつかない大変な事態に陥ってしまうことを再認識することができました。薬物には絶対に手を出してはいけないということです。



3年薬物乱用防止教室

◆ 7月13日(金)の6校時には、2年生で「放射線セミナー」が行われました。茨城県つくば市から高エネルギー加速器研究機構の宇佐美徳子先生をお招きし、1年の時に学んだ放射線の基礎を踏まえ、今回は様々な風評被害の現状や課題、福島県民として果たすべき役割等についてお話をいただきました。原発事故から7年以上が経過し、風評被害が減ってきているように思えるが、実はあの時の記憶が薄れていく「風化」によりそうになっているというお話が印象的でした。情報を発信する側にも受け取る側にも問題があり、科学リテラシーをもとに判断する力(科学的に考えていく力)が大切であることも理解することができました。6月28日には、1年生においても、東京工業大学の松本義久先生と京都大学の小林純也先生が来校され、放射線の基礎を学ぶ「放射線セミナー」が実施されたところです。



2年放射線セミナー

◆ 今年度も、えのき・けやき学級では、特別講師の早田千佳先生に体育の授業をお世話になっています。7月12日(木)1校時は、水泳の授業でした。朝から蒸し暑い中でしたが、生徒達は早田先生の指導の下、楽しそうに水泳に取り組んでいました。



えのき・けやき学級水泳の授業

教員ではない外部の専門家の方々による授業は、新鮮であったり、説得力があったりします。何よりも多くの人々から学ぶということは、意味のあることだと思います。これからもそういう機会はたくさんあります。自分だったら何ができるか、自分のこれからにどう役立てていくか、という意識をもって学んでほしいと思います。



# かがやくこと、いくつか...

女子卓球部は、この大会での成果を中体連県大会につなげてほしいと思います。

## ■ 第2回福島県小中高校生卓球競技選抜強化リーグ大会 (7/8)

女子17組：第3位 白石七瀬、女子19組：第2位 赤沼みどり、女子20組：第3位 松本 凜

## ■ ろうきん杯争奪第29回福島県ユース(U-15)サッカー選手権兼

高円宮杯JFA第30回全日本U-15サッカー選手権大会福島県県中地区大会 (7/8)

第3位 古川卓哉、遠藤向葵、加藤拓弥、神野藤亮太、塩野隼斗、佐久間渚翔、櫻澤朝斗、佐藤翔大、澤野蓮也、高橋奈々、曲山 歩、安部祥太、齋藤祐希、渡部 翔、秋元 連、大河原 駿、橋本拓実、吉田修将、郡司大暉、高木慎梧、奈須友聖、石木陸人、堀越悠輔、阿部凌真、増子裕太

サッカー部は市中体連大会のリベンジを見事果たし、県大会出場を決めました。力があることを証明してくれた大会でした。県大会でも富中サッカー部らしい粘り強いプレーを期待しています。

## ■ 第56回福島県吹奏楽コンクール県南支部大会 (7/16)

中学校 1部 銅 賞

早坂凜衣菜、秋山優太、大橋拓馬、堀江彩夏、大原心希、庄子愛生、鈴木修司、大束奈々、長田麻由、伊藤愛果、大内怜奈、野木京華、松田青蓮、室 彩羽、角田 凜、新野愛菜、牧山美里、宇佐見桃果、菊池こころ、近野美森、佐久間美羽、永井聖那、五十嵐心桜、齋藤千桜、倉澤 舞、柳田優衣、渡部魅月、飯村琴海、須藤聖菜、鈴木清華、古川優芽、堺入由芽



吹奏楽部は今年度最初のコンクールでした。演奏を聴いて、自由曲「オルフェの竖琴」はスケールの大きさを感しました。さらに演奏に磨きをかけ、市の合唱祭では、自分達の魂を強く込めた演奏を期待しています。

## ■ 『地域ふれあい活動』美化委員会による富田東地域公民館除草作業

7月9日(月)の放課後は、生徒会の専門委員会活動の日でした。

美化委員会の生徒達は、毎年行っている富田東地域公民館の除草作業を行いました。これは、本校の特色ある活動「地域ふれあい活動」の一つで、「地域貢献」となる活動です。美化委員会の生徒達は除草作業に真剣に取り組み、たくさんの草をとることができました。蒸し暑い中での作業でしたが、達成感や満足感を味わった生徒も多かったようです。



## 通学路の合同点検実施!



7月11日(水)には早朝より市教育委員会主催の「通学路の安全確保に向けた合同点検」が実施されました。道路管理者、警察、行政機関、地区自治会連合会や地域の関係団体、学校関係者(富田小、富田東小、富田中)約30名が集まり、通学路の安全点検を行いました。危険箇所の状況等を共有し、それぞれの立場で実施可能な対策を行うことにより、児童生徒を交通事故から守る目的での実施でした。今回は、富田町



作業する美化委員会の生徒



不動前一丁目の点検

富田町字音路、不動前一丁目、富田街字四十坦、富田町字十郎内、富田町字坦ノ腰、富田町字上赤沼、町東一丁目の計7カ所を实地調査しました。その後、本校において対策会議が行われ、今後の対策等について協議しました。道路がカラー化されている交差点や歩行者用のグリーンベルトなどは、全てこの合同点検と対策会議を行ったことによりできていることなのです。生徒のみんなの登下校の安全を守るため、このような活動が行われているということを知っていただきたいと思います。でも一番大切なことは、生徒のみんな一人一人が『交通ルールを遵守すること』だということも忘れないでください。



町東一丁目の点検

特設駅伝部の生徒達の早朝練習です。8月30日の市駅伝大会に向けて、強い走力を身に付けてほしいと思います。駅伝部の頑張り、期待しています!

